

動物実験に関する検証結果報告書

公立大学法人福岡女子大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2024年3月

日実動学-外検発 第 R6-30 号-報
2024 年 3 月 10 日

公立大学法人福岡女子大学
理事長 向井 剛 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好 一郎



対象機関：公立大学法人福岡女子大学
申請年月日：2023 年 6 月 30 日
訪問調査年月日：2023 年 11 月 20 日
調査員：北嶋修司、佐加良英治、能勢高志

検証の総評

福岡女子大学は、日本で最初の公立の女子専門学校として設立されて以来、「次代の女性リーダーを育成」という基本理念を掲げ、現在では 1 学部 3 学科及び大学院 2 研究科を擁する創立 100 年を誇る伝統ある公立大学である。

文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に適合した機関内規程が整備され、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」を遵守した飼養保管施設が整備されている。動物実験は教育と研究目的で、げっ歯類を用いて適正に実施されている。2022 年度は 7 件の動物実験計画が審査、承認され、実施結果も把握され適正に実施されている。また、飼養保管施設における空調設備の整備や教育訓練、自己点検・評価、情報公開等の適切な実施等、関係者の積極的な努力は高く評価できる。一方で、飼養保管手順書（飼養保管マニュアル）の内容について不

十分な点が見られること、施設設備等の維持管理体制の構築等が必要なことが、今後の課題と思われる。引き続き、動物実験に関する情報の収集に努め、収集した情報を学内の関係者と共有し、事務局や学内関係者の共通理解を得ながら、体制の維持のみならず、自己点検・評価、情報公開の継続、適正な動物実験のさらなる推進を期待したい。



公立大学法人福岡女子大学
— 検証結果報告書 —

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「公立大学法人福岡女子大学動物実験管理規則（以下「動物実験管理規則」という。）」が定められ、機関の長のもと、動物実験委員会を置き、動物実験を実施する体制が整えられている。これらは基本指針に則した内容である。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「動物実験管理規則」の中で基本指針に則り委員会の役割や委員構成等が定められており、基本指針が定める3要件の委員を含む6名からなる委員会が動物実験計画書の審査、動物実験の実施状況及び結果の把握、飼養保管施設並びに実験室の視察、教育訓練等を実施する体制がとられている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「動物実験管理規則」において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等が定められており、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。また、これらの手続きに必要な各種様式が定められている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>遺伝子組換え動物を使用した実験については、「公立大学法人福岡女子大学遺伝子組換え実験安全管理規則」が整備されている。また、向精神薬研究施設の許可を受けている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>「動物実験管理規則」においては、発がん・有害化学物質の投与実験及び病原体を用いる動物実験が実施できることになっているが、関連する学内規程等は整備されていない。発がん・有害化学物質の投与実験及び病原体を用いる動物実験を実施される場合は、速やかに学内での関連規程等を整備されたい。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設には管理者及び実験動物管理者が置かれ、飼養保管マニュアル、逸走時の対応及び地震、火災等の緊急時の対応計画が整備されている。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

飼養保管マニュアルに関しては、「飼養保管基準の解説」（環境省）等に基づき、内容の充実を図られたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

小規模ながら教育・研究に実験動物が利用されており、そのため、機関管理体制の構築や公立大学実験動物施設協議会（以下「公私動協」という。）に入会し、動物実験に関する情報を収集しようとする姿勢等、適切な動物実験の実施体制の構築に向けた関係者の積極的な努力は高く評価できる。収集した情報を学内の関係者と共有し、一層充実した動物実験実施にかかる体制づくりが行われることを期待したい。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員会は、動物実験計画の審査、飼養保管施設・動物実験室の視察、教育訓練の実施、自己点検・評価等の活動を行っており、動物実験委員会の機能を十分に果たしている。動物実験委員会議事録も適切に保管されている。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 2022 年度には 7 件の「動物実験計画書」が承認された後、適正に実施され、「動物実験（終了・中止）報告書」及び「動物実験の自己点検票」が 100%提出されている。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。

<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 遺伝子組換え生物を使用する動物実験が安全かつ適正に実施されており、事故等の発生もなかったことをヒアリングで確認した。また、関連する委員会の間で情報共有が図られている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 飼養保管施設はコンベンショナル環境であるが、一方向気流式ラックが設置され、温度・湿度、飼育室の気圧差が管理されており、飼育環境は適正に維持されている。「飼養保管マニュアル」の内容は不足する点があるものの、実験動物管理者が飼養者である学生を指導しており、動物飼育に関する記録も適正に保存されている。また、遺伝子組換えマウスの繁殖が行われており、微生物モニタリングが実施されている。したがって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>飼養保管施設は、2年ごとに動物実験委員会による視察が行われている。施設により関係者以外の立ち入り制限等が適切に実施されている。飼育環境は温湿度モニターに表示、把握され、記録も適切に保存されている。しかし、2022年度は、空調設備の故障時に修理予算が確保されていないため、修理完了まで時間がかかり、施設の適切な維持に支障をきたしていた。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>適正な飼育環境が確保されるよう、予算措置も含めた施設設備の維持・管理体制の構築を検討し、施設の適正な維持管理に努められたい。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験実施者、飼養者等の教育訓練を実施し、記録も適切に保存されている。実験動物を用いた実習に参加する学生も、実習でのオリエンテーションに加え、所定の教育訓練を受講している。実験動物管理者は、公私動協の実験動物管理者の教育訓練を受講している。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>教育訓練で行う人獣共通感染症の教育訓練は、飼養保管基準に基づき、十分な知識の習得ができるよう、さらなる充実を図られたい。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

「動物実験の自己点検票」「実験動物飼養保管状況の自己点検票」等の資料をもとに、動物実験委員会で自己点検・評価が実施されている。また、大学ホームページで、情報公開が適正に実施されている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

公開されている動物実験委員会の委員構成も最新のものとされたい。また、本検証結果報告書も速やかに情報公開されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

飼養保管施設はコンベンショナル環境であるが、一方向気流式ラックが設置され、温度・湿度、飼育室の気圧差の管理が可能な空調設備を整備し、適正な飼育環境の維持に努めていることは高く評価できる。今後も、事務局や学内関係者の共通理解を得ながら、衛生設備の充実や予算措置も含めた施設・設備の維持管理体制の構築等一層充実した動物実験実施の推進が期待される。